

# BS (バイブルスタディー) の目的

BSの究極的目的は、「鄭明析が再臨の救い主である」という結論を導き出すことであり、それを裏付けるために以下の30の講義を行う。

## 1. ペテロと魚<マタイ 17:24~27>

核心:「聖書は比喻で書かれている」

教訓:固定概念にとらわれていては、現状を打破できない。

裏:摂理独自の聖書解釈の強制。

## 2. Sun stop (日よとどまれ) <ヨシュア記 10:12~14>

核心:「聖書は時代性を考えて読まねばならない」

教訓:限りある時間を大切に使わねばならない。

裏:新約時代の次に再臨主の現れる成約時代が来るといふことの論理づけ。

## 3. エリヤとカラスのパン<列王記上 17:1~7>

核心:「聖書は神様の心情を分かって読まないといけない」

教訓:一度成功した後は気が緩んで失敗しやすいので、二度勝利しなければならない。

裏:摂理での「神様」の解釈の強制と異性関係等のチェック。

## 4. 七段階の法則<ヨハネ 1:1~5>

核心:「神様は真理という法則に基づいてはたらく」

教訓:世の中の法則を理解し生きるべきである。

裏:摂理独自の「真理」の解釈の強制と、摂理の教理を学ぶことを最優先させる。

## 5. 三分説 (霊の話) <テサロニケ第一 5:23>

核心:「人間は肉体・心(精神)・霊(靈魂)で構成されている」

教訓:霊の存在を認識できれば、空虚から開放される。

裏:霊の成長のために、組織への時間投資の強制。

## 6. 比喻 (序論、動物、植物、その他、特別) <マタイ 13:34~35>

核心:「現在は再臨主があらわれる時代である」

教訓:聖書解釈。

裏:摂理独自の聖書解釈の強制。

## 7. 火の概念<エレミヤ書 5:14>

核心:「火=神様の御言葉」

教訓:火で精錬するように神様の御言葉で自分を精錬しなさい。

裏:摂理の教理の権威づけ。

## 8. 終末論<ペテロ II 3:10~13>

核心:「終末とは世の終わりではなく転換期である」

教訓:転換期に自分を作り変えていかなければならない。

裏:現在は時代の転換期で再臨主があらわれる時代である。

## 9. 無知の中の相克世界<歴代志下 35:20~24>

核心:「ユダヤ人の無知のせいでイエスを殺してしまった」

教訓:無知は過ちを繰り返す。

裏:摂理幹部への報告、相談の徹底。

## 10. 異端の概念<ヨハネ I 2:22~23>

核心:「異端か否かは人ではなく神様が決めるものである」

教訓:新しいことを始めるときには、反対はつきものである。

裏:摂理の異端性の弁護。

## 11. 洪水の裁き<創世記 6 : 1~22>

核心：「救いの箱舟＝その時代に神様から使わされた人」

教訓：神様は罪刑法定主義である。

裏：摂理の教理に聞き従わないと神様に裁かれる。

## 12. 予定論<エペソ 1 : 4~5>

核心：「再臨主を苦難の主にはいけない」

教訓：神様が 90~95%助けるので人間は残りの 5~10%の責任分担を果たせば成功する。

裏：教祖を迫害から守らせる。

## 13. 中心人物論<マタイ 1 : 1~16>

核心：「各時代に時代を動かす神様から選ばれた中心人物があらわれる」

教訓：各時代の中心人物の性質を理解し、学ぶべきである。○△□の性格が必要。

裏：今の時代の神様から選ばれた中心人物が教祖であることを示唆。

## 14. 復活論<ルカ 15 : 11~25>

核心：「離れていた神様との関係性が回復することが復活である」

教訓：日々生まれ変わらなければならない。

裏：「イエスの復活は誰かにイエスの霊が臨む」という解釈の強制。

## 15. サタン論<マタイ 4 : 1~11>

核心：「サタンの性質を知って対抗しなければならない」

教訓：キリストのように完全になり、世の誘惑に打ち勝たなければならない。

裏：摂理に反対する意見を聞いたり信じさせなくしたりする。

## 16. カインの性格<創世記 4 : 1~12>

核心：「カインの性格をなくせばより神様に愛される」

教訓：自分の悪い性格を知り、なおして完全になりなさい。

裏：生活の規制と、罪や自分の足りなさを自覚させ、摂理への時間投資を強制させる。

## 17. 霊界論<ヘブル 8 : 4~5>

核心：「再臨主を信じると天国、裏切ると地獄」

教訓：真理を求めて努力すれば、天国に行ける。

裏：教祖への疑問や裏切りと、摂理からの離脱に恐怖心を与える。

## 18. 啓示論<テモテ II 3 : 15~17>

核心：「再臨主の御言葉がこの時代に与えられた最大の啓示である」

教訓：日々神様から与えられている啓示を感じなさい。

裏：自己判断能力の剥奪。

## 19. メシアの資格論<マタイ 24 : 29~30>

核心：「再臨主の性質を理解して会ったときに救われる」

教訓：再臨主の性質と会う方法。

裏：教祖が再臨主であることの論理付け。

## 20. 千年王国（地上天国）<黙示録 20 : 4~6>

核心：「再臨主が来ることにより千年王国という天国が成される」

教訓：天国を成す方法。

裏：摂理の教理を聞いて教祖に会わないと天国にいけないとの不安感を植えつける。

## 21. イエスとエリヤの再臨実相比較<ルカ 1 : 13~17>

核心：「イエスは同じ心情を持った人に再臨する」

教訓：イエスとエリヤの路程。

裏：イエスが人に再臨するという解釈の論理付け。

## 22. バプテスマのヨハネとイエスの関係及び使命の比較<マタイ 14 : 1~12>

核心：「バプテスマのヨハネが使命を果たせなかったことが、イエスの十字架の原因」

教訓：バプテスマのヨハネのように途中で疑い、失敗してはならない。

裏：摂理や教祖へ裏切りは、歴史的な大罪になるとの恐怖心を植えつける。

## 23. ユダヤ教とキリスト教の教理比較<コリント I 2 : 8>

核心：「キリスト教には再臨、火の裁き、復活、地上天国がある」

教訓：ユダヤ教のように聖書を文字どおり信じてはいけない。

裏：ユダヤ教を見下すことにより摂理の教理を持ち上げる。

## 24. 二本のオリーブの木と二人の証人<黙示録 11 : 1~6>

核心：「神様は自分を補うペアを用意している」

教訓：2人がひとつになると自分1人より二倍以上の効果がある。

裏：再臨主の出現と、教祖を物質面で支えることへの論理付け。

## 25. ひと時ふた時半時<ダニエル書 12 : 5~13>

核心：「教祖は再臨主である」

教訓：ダニエル書の解釈。

裏：教祖が再臨主であるとの論理付け。

## 26. 創造目的<創世記 1 : 27~28>

核心：「神様は人間に、成長、結婚、万物を治めるという3つの祝福を与えた」

教訓：まず自分を成長させたとき、全てがうまくいく。

裏：結婚の規制による信者管理。

## 27. 墮落<創世記 2 : 17>

核心：「善悪を知る木の実を食べたと言う原罪は、エバの性的墮落のことである」

教訓：成長→結婚→万物を治めるという順番を間違えてはならない。

裏：結婚の規制による信者管理。

## 28. 救い<使徒 16 : 31>

核心：「再臨主に会ってその御言葉を聞くことが救いである」

教訓：再臨主に会うために教理を理解し、再臨主の心情を理解しなければならない。

裏：再臨主に会うための禁欲生活による信者の拘束。

## 29. 再臨<使徒 1 : 6~11>

核心：「イエスは地上に人として降臨する」

教訓：再臨主に会うために教理を理解し、再臨主の心情を理解しなければならない。

裏：再臨主に会うための禁欲生活による信者の拘束。

## 30. 歴史<伝道の書 1 : 9>

核心：「再臨主は聖書の預言を成就する」

教訓：預言を成就できるのはキリストだけである。

裏：教祖が再臨主であるとの論理付け。